

臨床研究に関する情報公開について

西暦 2020 年 4 月 27 日 Ver. 1

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報をまとめることによって行います。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんおひとりずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

利用する情報からは、お名前、ご住所など、個人が特定できる情報は削除します。また、研究の成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際にも個人が特定できる情報は公表しません。

ご自身の診療情報を研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問合せなどがある場合には、以下の「問合せ先」へご照会ください。研究への不参加を申し出られた場合にも、なんら不利益を受けることはありません。

研究課題名：	脾腫を伴う肝硬変を合併する HIV/HCV 共感染血友病患者における脾臓摘出術の有効性についての後方視的検討
実施診療科：	医療法人財団荻窪病院 血液凝固科
研究期間：	西暦 2020 年 5 月 1 日～西暦 2021 年 3 月 31 日
研究目的と意義：	当院において、肝硬変に合併する脾腫ならびに血小板数減少症を呈する HIV/HCV 共感染血友病患者さんにおいて脾臓摘出術前後の血小板数ならびに免疫能の評価を後方視的に検証します。
研究内容：	<p>●対象となる患者さん</p> <p>1995 年から 2014 年にかけて脾腫を伴う肝硬変もしくは慢性肝炎と診断され、血小板数の低下 ($50 \times 10^9/L$ 以下) もしくは免疫低下 ($CD4 \ 500/\mu L$ 以下) を認めていた HIV/HCV 共感染血友病患者さんのうち脾臓摘出を施行した患者さん</p> <p>●利用するカルテ情報</p> <p>脾臓摘出前の</p> <p>① 患者背景：年齢・性別・身長・体重・血友病重症度</p> <p>脾臓摘出前と脾臓摘出後 6 か月の</p> <p>② 検査データ：血液検査 (T-bil、AST、ALT、alb、PT(%))、CD4 数、血小板数、HIVRNA 定量、HCVRNA 定量、HCVgenotype)</p> <p>画像検査 (CT、腹部エコー)</p> <p>病理検査 (肝生検結果、脾臓摘出時脾臓病理)</p> <p>●研究方法</p> <p>カルテより情報収集します。</p>
問合せ先：	<p>【研究責任者】</p> <p>医師名：片山 春奈 医療法人財団荻窪病院 血液凝固科</p> <p>住所：〒167-0035 東京都杉並区今川 3-1-24</p> <p>電話：03-3399-1101 (代表)</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】(本研究に関する相談窓口)</p> <p>窓口：片山 春奈 (医師)</p> <p>電話：03-3399-1101 (代表)</p> <p>受付時間：月～金 8：30～17：00 (土・日・祝・祭日を除く)</p>